

市民広聴会「市長と話そう」の記録 ①東市民センター

■開催の概要

日時	令和5年10月15日（日） 13:00~14:20
場所	東市民センター
主なテーマ	重点戦略3「多様な働き方が実現できるまちづくり」
参加者数	38人

■意見交換の概要（要約）

ご意見（ア）

○前期基本計画の策定後、コロナ禍となり大きな影響を受けたと思うが、財政面などについて修正が行われたのか。

→基本的には計画の変更は行っていない。コロナ禍に関しては、国から交付金の支援もあり、問題なく計画を進めることができた。予防接種の対応に関しても、同様である。

ご意見（イ）

○「多様な働き方」に関連して、国ではテレワークなど労働形態のことを言っているが、本計画での多様な働き方とは、どのような意味で言っているのか。

→本計画での多様な働き方とは、まずは多くの働く場を創出することであり、それが大事と考えている。テレワークなどの色々な働き方については、その後の段階で、各企業との間で進めていくものと考えている。市としては、多方面における働きやすい環境づくりについて、誘致企業だけでなく市内の企業全体にお願いしていくことになる。

○雇用の確保という点では、誘致企業に対して、非正規ではなく正規での雇用が増えることを望みたい。

→誘致企業の経営者からは、安定的な雇用の確保に向けては、非正規よりも正規雇用の方向であるという話を聞いている。

ご意見（ウ）

○三つお願いがある。小学校5～6年生による連合運動会では、会場である長久保小学校までの距離が遠い学校もあり、今年は熱中症となってしまった子どももいたことから、市で送迎バスをお願いしたい。

また、コロナ禍の影響で、学校に行けない子どもが増えているようである。教育センターから遠い地域に住んでいる子どもたちのために、近くでフォローできる施設をお願いしたい。市内に総合アリーナのような施設を望みたい。

→連合運動会の取組は、近隣では廃止している自治体もある中で、とても重要な取組であると考えているが、今後のあり方については、バスの問題も含め検討が必要と考えている。不登校対策については、県の予算で派遣される（月1回の）スクールカウンセラーだけでは不十分のため、市単独の予算を使ってスクールカウンセラーを確保し、各校で1週間に1回は相談できるようにしている。この取組は、県下でも鶴ヶ島市だけである。アリーナのような施設については、ご意見として伺う。

ご意見（エ）

○インフルエンザの予防接種について、市は無料にする考えはあるか。

→インフルエンザの予防接種は任意接種であることから、現時点で無料にする予定はない。高齢者等に対して、1,500円の個人負担で予防接種が受けられるよう接種費用の一部を市が負担しているところである。

ご意見（オ）

○企業誘致を進めていく場合、働き手の確保が問題になると思う。今後、どのように働き手を確保していくのか。人口流入についてどのように考えているか。

→近年、市の人口はほぼ現状維持。誘致した企業には、地元からの雇用をお願いをしている。また大学生についても、大学卒業後も引き続き地域に残ってもらえるよう、東武東上線沿線の大学と自治体が連携して取組を進めているところである。

ご意見（カ）

○「子どもにやさしいまちづくり」について、子どもが他人を思いやれる施策を入れてもらいたい。また、子どもを思いやれるまちづくり、健康でいられるまちづくりを進めてもらえるとよい。五味ヶ谷は川越市との市境に位置しているところから、両市の市民の連絡網などが整備できるとよい。

→「思いやりのある子が育つ施策」については、教育委員会でも学校でも取り組んでいる。一番は家庭の中で、思いやりのある子どもを育ててもらいたい。連絡網については、ご意見として伺う。

ご意見（キ）

○少子高齢化が進む中で、小中学校の再編も必要になると思う。その点からもまちづくりを考えていく必要があると思うが、どのような状況であるか。

→2年前に策定した市の公共施設の保全計画の中では、小学校については、今後20年間は、現在の8校を維持することを基本的な考えとしている。中学校については、集団の中で、自立性を育てるための教育環境を用意する必要があると考えている。そのため、生徒が減っている西中学校については、令和9年度を目途に鶴ヶ島中学校と統合していく予定である。

ご意見（ク）

○五味ヶ谷地区は農業振興地域ともなっているが、有効に土地活用ができるようになるとよい。

→企業誘致に関して、市街化調整区域における土地活用の適切な誘導を進めているところであるが、農業振興地域も大切であることから、農業を振興していく区域と、開発していく区域を、バランスを取りながら進めていく必要がある。第6次総合計画の土地利用構想では、五味ヶ谷地区については、土地利用転換検討地域とし、将来に向けて土地利用を検討していく地域に位置づけている。市民の皆さんの意見を聞きながら進めていきたい。

ご意見（ケ）

○「多様な働き方」とあるが、市内には多くの障害者がいる。そうした方々の就労の場について、市からも情報を発信してもらいたい。

→福祉部門では、本人の希望に全て沿えているわけではないが、他市と比べても、色々と取り組んでいるところである。ご意見として伺う。

ご意見（コ）

○市内に空き家が増えているが、働く場所の確保の面で、うまく活用ができるのではないかと。

→住宅土地統計調査によると、アパートの空き室も含めた本市の空き家率は、10%程度になる。市の調査では、空き家は200件程度であり、宅地建物取引業協会の話でも空き家については、ほぼ流通している状況にあるとのことである。テレワークなどへの活用については、所有者の意向を踏まえながら、検討が必要になると考えている。

ご意見（サ）

○多様な働き方の環境整備ということで、空き家や市役所の空きスペース等を活用したシェアオフィスなどがあればよい。街に街灯が少ないため夜暗く、女性が怖いかと思う。起業支援についても、何かアイデアを出してもらい、それに市が支援をすることがあってもよい。市役所の女性管理職の割合については低下しているので、女性の登用を積極的に進めてもらいたい。

→シェアオフィスについては先の空き家に関するところで述べたとおり。街灯については努力して進めていく。起業支援については、起業する方の事情もあり、難しい面があると思っている。市役所の管理職の登用については、本人の意向も含め難しい面があるが、男女問わず優秀な人材を登用したい。

ご意見（シ）

○市街化調整区域も下水道の整備ができないか。計画の具体的な内容はどうなっているのか。

→総合計画の具体的な取組については、7つの分野別の政策の中で整理しており、具体的な施策や取組に沿って、予算を毎年度組んで実施している。下水道整備は、基本的には市街化区域のみとしているが、近くに下水管が通っていれば、市街化調整区域でも接続が可能である。

ご意見（ス）

○出生率の低下が続いているが、産婦人科医院を市に誘致することはできないか。

→産婦人科医院の誘致については、これまでも広く働きかけを行ってきたが難しいところである。引き続き努力していく。

ご意見（セ）

○本日のテーマ「多様な働き方が実現できるまちづくり」と来場した人が乖離している印象がある。若い人、働く人にもっと参加してもらう必要がある。市からの働きかけも必要であり、若い人が使うLINEなどを活用した情報提供が必要だと思う。

→市では、子どもから勤労者、高齢者の全世代に向けてまちづくりを進めている。子どもにやさしいま

ち、働きやすいまち、高齢者が健康でいられるまちを目指している。若者への情報提供のひとつとしてスマートフォンで利用できる市公式アプリ「つるポッケ」を導入している。ぜひ、登録をお願いしたい。